

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

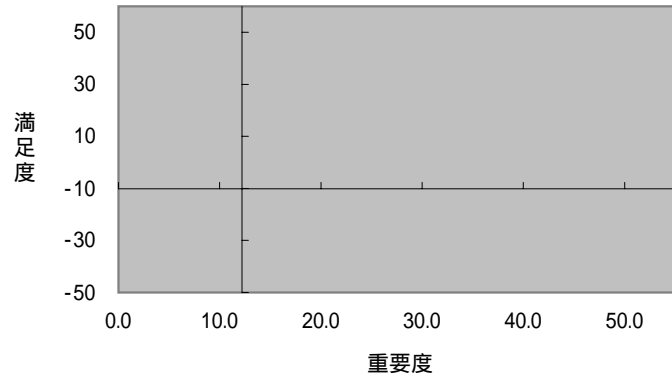
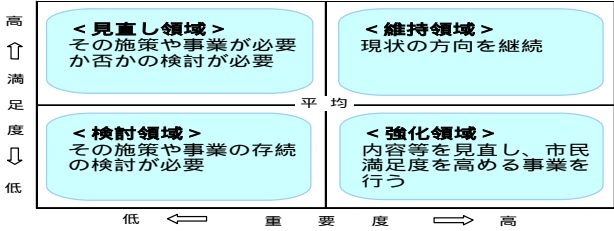
施策名 (小項目)	交通安全	コード	作成者	役職	市民課長
		01-04-01	氏名	谷本 隆二	
			電話	64-1876	
		このシート作成に要した時間		2.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	安全で安心して暮らせるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	道路通行者の交通事故防止	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	全国的に交通事故死者数は減少傾向にあります。事故発生件数は依然として増加傾向にあります。特に、高齢社会が急速に進む中で、全交通事故死傷者に占める高齢者の割合が年々高くなっています。このような中で、市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させることが必要であり、今後とも、家庭、学校、職場、地域などで、幼児から高齢者までに幅広い交通安全教育を推進し、交通安全意識の高揚を図る必要があります。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全意識の高揚</li> <li>交通安全教育の実施</li> <li>交通安全施設の整備</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査において「交通マナーが守られていると感じている市民の割合」は、下記参考指標のとおり、低いレベルでほぼ横ばいとなっている。今後とも関係団体等との協力で地道な啓発活動などを展開する必要があります。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22			H23	H28
成果指標 交通事故発生件数(人身)	目標	件	210	210	210	資料(交通年鑑)	H23	200.0
	実績	件	257	269	232	100以下で達成	H28	180.0
	達成率	%	122.4	128.1	110.5			
	ベンチマーク							
参考指標 市民による事故発生件数	目標	件	65	65	65	交通事故1万人当たり換算	H23	60.0
	実績	件	73	74	74	資料(交通年鑑)100以下で達成	H28	55.0
	達成率	%	112.3	113.8	113.8			
	ベンチマーク							
参考指標 高齢者の交通事故被害件数	目標	件	60	60	60	65歳以上の人数	H23	50.0
	実績	件	71	68	82	資料(備前警察署)100以下で達成	H28	40.0
	達成率	%	118.3	113.3	136.7			
	ベンチマーク							
参考指標 交通マナーが守られていると感じている市民の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	市民意識調査	H23	100.0
	実績	%	23.2	21.9	26.2		H28	100.0
	達成率	%	23.2	21.9	26.2			
	ベンチマーク							

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)												施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度				平成22年度					平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数	当 初予算 (直接事業費)	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費		人工数
1	A	交通安全啓発事務	単市	601	4,506	0.84	501	4,578	0.87	272	1,772	0.29	282				
		交通安全運動実施事業	単市	59	2,486	0.41	58	2,566	0.42	26	1,851	0.31	32				
		交通安全教室開設事業	単市	87	1,043	0.34	71	848	0.33	40	1,238	0.41	12				
		交通安全用品設置事業	単市	56	304	0.03	64	554	0.05	0	329	0.03	30				
2	A	市交通安全対策協議会事業	単市	100	648	0.06	100	1,729	0.16	100	768	0.13	100				
		県交通安全母の会事業	単市	19	105	0.01	19	109	0.01	19	80	0.01	19				
		市交通安全母の会事業	単市	50	49	0.01	40	119	0.01	40	166	0.04	40				
3	A	警察要望書提出事業	単市	0	336	0.03	0	197	0.02	0	111	0.01	0				
4	A	交通安全施設整備事業	単市	5,997	890	0.14	8,995	884	0.14	17,646	824	0.11	5,000				
5	B	交通安全施設維持管理事業	単市	2,276	316	0.04	1,896	478	0.07	2,738	765	0.08	2,892				
6	B	市営駐車場維持管理事業	単市	317	925	0.10	289	935	0.09	238	743	0.11	260				
				この施策に費やした資源(単位:千円,人)													
				平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度	
				9,562				12,033				21,119				8,667	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
公安委員会	信号機等の規制に関する施設整備	交通事故の削減

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	人身交通事故の発生件数の減少は交通安全を象徴する指標として妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	継続的な実施が必要である	
進行年度(H23年度)の取組内容 (課題解決状況)		交通安全意識の啓発は一朝一夕に結実しないため、地道に施策を継続的に展開することが肝要である。一方で、高齢者の被害件数が増加していることから、機会を捉えて高齢者への交通安全意識の向上啓発に努めたい。	
翌年度(H24年度)の取組目標		従前の取り組みに加えて、高齢者向けの啓発事業などの充実を図る。	
二次評価者コメント		市内の各種関係機関との連携はよく取れており、交通安全意識の高揚は図られている。重点目標である高齢者への啓発事業等をより一層展開することが必要である。	
役職 氏名	市民生活部長 野上 茂之		
		基本施策への 貢献度  3 中立	